

## PRパレードと奉仕活動

### シルバーの日

シルバー人材センターが、事業の普及啓発月間である10月15日(水)「シルバーの日」と定め、PRパレードや奉仕活動を行いました。

中央公民館を会場に同センター近村理事長が「活動趣旨」を説明。小野町長の激励後、会員や関係者約150人がパレードに出発しました。地域の住民や保護者が見守る中、中央公民館から津軽中里駅間を中里幼稚園の子どもたちが鼓笛演奏で先導し、会員や関係者が続きました。

パレード終了後は、道路や公共施設敷地内のごみ拾い、役場付近の落ち葉拾い、カーブミラーのふき掃除など奉仕活動を行いました。

作業後の講演では、1年ぶりの登場となる元県警職員の小向千鶴子氏が「笑いと安全・安心」と題し、ユーモアを交ぜながら「自分のため自分の身は自分で守りましょう」と交通安全を訴えました。

町交通安全母の会連合会会長や中里駐在所阿部所長の話によると、五所川原警察署管内では、今年のこの時期の交通事故による死亡者は0人でしたが、今年は5人と異常事態であるそうです。また、死亡者の6割が高齢者であるそうです。町内を通る国道339号線でも死亡事故が発生しています。交通安全に努めていただきたいと伝えました。



## 受賞者たちが集う

### MOA美術館中泊児童作品展

MOA美術館中泊児童作品展が10月18日(土)、19日(日)中央公民館で行われました。今回は絵画175点、書写209点の作品がよせられ、展示場では、保護者や祖父母らが、子どもたちの力作を鑑賞していました。

各賞は次のとおり。

(※ 絵は絵画の部、書は書写の部、数字は学年)

- MOA美術館奨励賞…絵 野上和(中里小3) / 書 山田華蓮(小泊小4)
- 東奥日報社賞…絵 打越日香梨(中里小3) / 書 古川萌子(中里小4)
- 中泊町長賞…絵 奈良佳煌(武田小1年) / 書

- 山田きりう(小泊小2) ■中泊町議会議長賞…絵 山田晃雅(小泊小5年) / 書 川島心(武田小5)
- 中泊町教育長賞…絵 太田ひなた(小泊小2) / 書 秋元菜月(薄市小5)
- 中泊町連合PTA会長賞…絵 黒滝颯花(中里小3) / 書 古川郁子(中里小2)
- 五所川原保護司会中泊分会会長賞…絵 神竜翔(薄市小1) / 書 長利絢捺(中里小6)
- 中泊町更生保護女性会会長賞…絵 工藤明日香(中里小4) / 書 菊池柚葉(中里小4)
- 中里町自然農法研究会会長賞…絵 杉山凜音(武田小3) / 書 升田亮佑(小泊小6)
- 金賞…絵 坂田桃香(中里小4)、葛西姫由(武田小3) / 書 石川采(武田小6)、秋田陽向(中里小5)
- 銀賞…絵 平山幸音(薄市小1)、佐藤稀咲葵(中里小3) / 書 小林桃々(薄市小6)、久保田美空(小泊小5)
- 銅賞…絵 成田天誠(薄市小1)、三上柊哉(中里小4) / 書 久保田龍斗(小泊小3)、山下緋杏(武田小5)
- 佳作…絵 越野ゆあん(小泊小2)、新岡勇輝(武田小1)、石川風真(武田小4) / 書 成田力道(薄市小4)、原子里央奈(薄市小5)、菅原美優(武田小5)

## 収穫の秋—畑の学校

### ■豪雨に負けず大きく生長

中里小1・2年生 畑の学校・食卓の学校

今年6月に中里小学校の児童が植え付けをした作物の収穫体験が9月26日(金)に行われました。ピュア裏にある体験ほ場は8月の豪雨で冠水しましたが、子ども達が植えたさつまいもと枝豆は立派に生長。畑の学校・校長(田中恵津子さん)は収穫作業前のあいさつの中で、「みなさんが一生懸命植えたから、おいもさんも枝豆さんもそれに応えてくれた」と話しました。

秋晴れとなったこの日、児童たちは協力し合いながら作業に汗を流し、「大きい物がとれた!先生見て!」といった声が畑に響いていました。体験後はグリーンツーリズムの会「かけはし」のメンバーと試食をし、収穫の喜びを味わっていました。

### ■黄金色の大地の恵み

中里小学校5年生が稲刈りを体験

米の収穫時期であった9月29日(月)、神かづ子さん(豊岡)の田んぼに中里小学校5年生が集まり、稲刈り体験が行われました。児童たちは班ごとに分かれ、春にそれぞれが田植えをした場所の刈り取りをしました。鎌を使うということで、少しずつ慎重に作業を進めていました。刈り取った後は、神さんや町農政課職員の指導のもと、稲を乾燥させるための島立てを作りました。児童たちは「刈り取りが楽しく、もっとたくさんやってみたかった。稲を束ねるのは少し難しかった」と話していました。



小泊小



中里小

## 小学校保健委員会が発表

中里小でぐらしの健康研究発表会

北五学校保健会(会長・田中正彦医師)が、10月8日(水)中里小学校を会場にぐらしの健康研究発表会を開催しました。

発表会には北五管内の小学校5校(嘉瀬・梅沢・板柳南・小泊・中里小学校)の保健委員会と中学校1校(五所川原第二中学校)が参加し、それぞれ研究成果を発表しました。

開会では、田中会長が「毎年この発表会は医者である自分も勉強になる。今日も楽しみにしている。自信をもって発表してください」と激励しました。

地元2校のうち、小泊小学校保健委員会は5・6年生7人が発表。「給食の1人分の量と満足」と題し、食べる量をもとに健康を調整する取り組みを挙げました。給食をおかわりではなく、「盛り切り」の方法をとって、全員が残さず良く咬んで食べることを続け、その結果健康へつながるというものです。

一方、中里小保健委員会は5・6年9人が発表。「すいみんのひみつをさぐろう」と題し、早寝・早起き・快眠の重要性を発表。校内アンケートの結果を紹介し、遅く寝る児童らの傾向をまとめ、対策として、疲れをとり、成長させ、頭をスッキリさせる睡眠の力を説明し理解を深めました。

## 地域スポーツ振興に貢献

### 加藤豊氏に感謝状

第55回全国スポーツ推進委員研究協議会岩手大会が9月25日(木)、26日(金)に盛岡市で開催されました。この大会の中で、全国スポーツ推進委員連合会から当町スポーツ推進委員の加藤豊氏に感謝状が贈られました。

加藤氏は30年間スポーツ推進委員として、地域のニュースポーツや軽スポーツの普及などに取り組んだことが評価されました。感謝状を受けて同氏は「スポーツが町民の健康増進につながればありがたい。今後とも町のスポーツ普及活動に務めたい」と話していました。



## 関係団体間の連携強化

### 秋山遭難救助訓練

山岳遭難に向けた関係機関の参集、捜索、救助技術の向上と連携強化を図ろうと、10月2日(木)小泊ダムで秋山遭難救助訓練が行われました。この訓練は、青森県山岳遭難防止対策協議会五所川原支部(支部長・森田盛一五所川原警察署長)が、自治体、森林管理署、消防署、消防団、警察署などと協力して遭難者を救助するものです。参加者は4班に分かれ、小泊ダム周辺の道から遭難者を捜索・救助する訓練をこなしました。

その後日本海漁火センターへ移動し、小泊消防署職員の指導でAED実技講習を行いました。消防職員と警察職員が協力して応急救急法の動作を確認しました。最後は、炊き出し訓練として、小泊赤十字奉仕団のみなさんが限られた3時間で捜索参加者の全員分のおにぎりとお汁を準備し、訓練は終了しました。

## 加工施設のオープンを活用

### 親子お菓子作り教室

ピュア施設の利用と地元食材の米粉の活用を促進しようと、10月5日(日)ピュア加工施設で親子お菓子づくり教室が開催されました。小学生とその保護者10組が参加し、米粉を使ったシフォンケーキやクッキーづくりに挑戦。バンダナ・エプロン姿になった親子たちは、指導員の説明を聞きながら、材料を混ぜ合わせるなどの作業をしていました。子どもたちは、できあがったケーキをみて「すごい」と笑顔を見せていました。参加した小学生は「きれいに混ぜるのが難しいけど楽しい」と話し、一方、保護者たちは「みんなで一緒につくることは親も子どもたちにとってもよい交流になる。もっとこのような機会を増やして欲しい」と話していました。



## ナイスショット

### 町民グラウンドゴルフ大会

町民グラウンドゴルフ大会が、9月28日(日)町運動公園陸上競技場で開催されました。大会には、27人が参加。優勝を目指してプレーしました。この日は、快晴の天気となり、コンディションもよく参加者たちは「気持ちよくプレーできた。次回は上位に入りたい」と大会を振り返っていました。

■結果 男子の部…1位鈴木喜代三郎、2位熊谷明彦、3位木村幸雄  
女子の部…1位古川キサ、2位坂田ヒサ、3位斉藤廣枝  
ホールインワン賞…古川キサ



## 函館で津軽半島3市町がPR

### 津軽半島がっばどフェスタ

北海道新幹線で青森県に設置される奥津軽今別駅への集客を目的に、9月27日(土)、28日(日)函館市金森レンガ倉庫とJR函館駅で「津軽半島がっばどフェスタ」が行われました。このイベントは、今別町・五所川原市と3市町合同で開催し、津軽半島の魅力をPRするものです。秋元副町長が出席した懇談会では、工藤函館市長が今後とも3市町と連携協力をしていくことを確認しました。各市町は、郷土芸能・特産品の販売などそれぞれの特色を生かした催しを開催。当町からは金多豆蔵人形芝居が登場し、来場者を沸かせていました。



## 今年は中学生も一緒に

### 高齢者室内健康づくり運動会・給食

スポーツを通じて健康維持・増進などを図ろうと、北光寿大学では毎年高齢者室内健康づくり運動会を行っています。今年は10月15日(水)に、小泊中学校体育館で開催されました。この日は各チームに弘前医療福祉大学の実習生、小泊中学校の3年生と教員が加わり、玉入れや風船リレーなどで楽しみながら競い合いました。中学校の生徒達がこの運動会に参加するのは初めての事です。体育館には例年よりも大きな歓声が響いていました。

競技が終わった後は学校の教室へ移動し、給食を食べながら交流しました。寿大学生たちは、「今日は体を動かして、おいしい給食を食べて、本当に楽しい1日だった」と感想を話していました。

## より健康的に歩く

### さああさぐべしなかどまりノルディックウオーク編

体育の日(10月13日)秋晴れのもと「さああさぐべしなかどまり ノルディックウオーク編」が行われました。この日は、全日本ノルディックウオーク連盟会員7人を講師に迎えノルディックウオークの歩き方などのレクチャーを受けました。

いよいよスタートです。参加者たちは大沢内ため池公園管理棟を出発し、湧つば経由の6.2kmのコースを軽快に歩きました。30人の参加者たちは、色づき始めた木々を見ながら1時間20分で完歩しました。参加者は「天気も良く気持ちよく歩けた。ぜひまた参加したい」と話していました。



## 児童の交通安全に利用

### 県トラック協会西北五支部横断旗寄贈

青森県トラック協会西北五支部が10月14日(火)町教育委員会を訪問し、出迎えた加藤教育長に横断旗を贈呈しました。同協会では交通安全対策や環境保全対策などを推進するため、毎年さまざまな活動を行い、地域に密着したトラック協会を目指しています。

この日は、同協会坂田隆支部長(株式会社北栄運輸・代表取締役会長)が「中泊町の児童の交通安全に役立ててほしい」と教育長に横断旗の目録を手渡しました。これに対して、教育長は「町内の4小学校で大切に使用させていただきます」と答えていました。

